

五並中学校の ESD 活動

<活動の概要>

当校は、「表浜プロジェクト」と「キャリア教育」を活動テーマとして、ESDを地域とのつながりを通して体験的に学ぶことと捉え、その中からよりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質や能力の育成を目標とした。SDGsを柱に、①環境にかかわる活動、②地域の職業にかかわる活動、③地球規模の課題の解決にかかわる活動を行った。

・活動の実際

① 生命や環境にかかわる活動（1年生）

1年生は、さまざまな環境、事情をかかえている人を知ろうということから、福祉との関わりを中心に学習をすすめている。

高齢者疑似体験、盲導犬について学ぶ講座、車椅子体験などを実際に体験することによって、新たな気づきが生まれたり、自分にできることは何かを考えたりすることができた。学びを生かして、地域の人々や施設とも関わりをもっていきたいという思いももつようになっている。



① 車椅子体験の様子

② 地域の職業にかかわる活動（2年生）

2年生は、働くことをテーマに、自らのキャリアを考える学習を行っている。生徒たちは働くことのイメージを膨らませていく中で、実際に働いている人たちの話を聞いたり、体験をしたりすることが必要だと考えた。

職場体験では、各事業所での四日間の体験をするなかで、仕事の大変さや喜び、今の自分がやるべきことを考えるようになっていった。

そして、職場体験を終えて、描いた将来のイメージをもとに、進路に関する調べ学習を行った。



② 製菓店での職場体験

③ 地球規模の課題の解決にかかわる活動（3年生）

3年生では、SDGsの理念を基に、地球規模の課題をどう解決していくかを考えた。寄付が現地の産業を圧迫することもあるという現状を知った生徒は、「相手の状況を知る必要がある。そのためには情報収集して、何が正しいのかを判断しないといけない。」とメディアリテラシーの重要性に気づいた。

そこで、個々で設定したテーマに応じて、新聞切り抜き作品を制作し、他学年に向けた発信活動を行った。



③ 新聞切り抜き作品づくり